

中山 11

発走 15:35

第34回 フェアリーステークス (GIII) (3歳・オープン)・牝馬 (調教・別定)

Table with columns for race number, horse name, jockey, trainer, and various statistics. Includes entries like テトラドラクマ, サヤカチャン, and others.

Table with columns for horse name, sex, age, and other details. Includes entries like テトラドラクマ, サヤカチャン, and others.

Table with columns for horse name, sex, age, and other details. Includes entries like テトラドラクマ, サヤカチャン, and others.

Table with columns for horse name, sex, age, and other details. Includes entries like テトラドラクマ, サヤカチャン, and others.

Table with columns for horse name, sex, age, and other details. Includes entries like テトラドラクマ, サヤカチャン, and others.

Table with columns for horse name, sex, age, and other details. Includes entries like テトラドラクマ, サヤカチャン, and others.

馬券情報: 茅1600, 1.30.7, 1.35.0, 1.37.0

馬券情報: 2.5.29, 2.22.40, 5.02.00, 5.07.00, 5.18.37.0, 5.28.37.0

馬券情報: 2.5.29, 2.22.40, 5.02.00, 5.07.00, 5.18.37.0, 5.28.37.0

馬券情報: 2.5.29, 2.22.40, 5.02.00, 5.07.00, 5.18.37.0, 5.28.37.0

馬券情報: 2.5.29, 2.22.40, 5.02.00, 5.07.00, 5.18.37.0, 5.28.37.0

本紙の見解: 芝六二戦が好内容のテトラドラクマ。前走1分33秒9は、3戦しかない今年の3歳世代の1分33秒台の勝ち時計の一つ。他2戦は、ダノンプレミアムの1分33秒台の勝ち時計。ラップ、上がりの優秀さに加え、余裕十分に後続を5馬身ちぎった内容から、阪神JF上位組と差のない実力馬と評価。潜在能力高いトロワゼトワルが相手。[上位拮抗]

柏木の単連: 能力差が大きく途中でバラけるため、最近4年で前走が3回も連対している。前走のテトラドラクマはOP馬。単複 16→14 14→7 16→10 16→6 16→5

馬番	オッズ	上位人気
117	46.8	
57	56.4	
514	50.0	
516	63.3	
71	39.6	
715	41.8	
710	42.5	
713	60.6	
714	31.8	
716	34.9	
107	66.1	
1014	65.8	
1314	60.1	
141	42.0	
145	20.8	
147	36.9	
1413	36.3	
1416	15.5	
161	42.4	
165	35.2	
167	32.2	
1610	41.3	
1613	63.8	
1614	14.7	



大川浩史

1頭だけの京都遠征
 ▼スベリオルンチー(京都9R)
 はダート①②⑧着。勝った時は1秒9差、0秒8差の圧勝。500万②着(0秒1差)時の勝ち馬は次走1000万を0秒5差で楽勝。こういう戦歴だから昇級初戦の前走で1番人気になるのは自然だが⑧着。ペースは速かったが、ハイペースでも前に行ける馬なのに最初から行



▼昨17年の全日本2歳種牡馬ランキングは次のようだった。
 数字は総勝利数(芝)

- ①ディープインパクト 57(56)
- ②ロードカナロア 39(37)
- ③ハーツクライ 25(22)
- ④ヘニーヒューズ 39(43)
- ⑤ダイワメジャー 21(24)
- ⑥ルーラーシップ 24(21)
- ⑦オルフェーヴル 11(9)
- ⑧キンシャサノキセキ 21(12)
- ⑨ヨハネスブルグ 42(34)
- ⑩ハネスブルグ 33(39)
- ⑪サウスイーグラス 61(0)
- ⑫エイシンフラッシュ 22(10)
- ⑬ノヴェリスト 11(8)
- ⑭ハートランド 12(10)
- ⑮エスポワールシチー 21(5)
- ⑯モンテロソ 14(3)

多勝記録更新である
 ▼フェアリースにも、8日のサンザン記念にも有力馬出走させるロードカナロアは、新種牡馬ランキングで同じ39勝のヘニーヒューズを押さえて首位。
 2頭の違いは、JRAの芝中心のロードカナロアに対し、ヘニーヒューズは公営のダート戦の勝利が多いため。
 ロードカナロアは39勝もしながら、2歳重賞は(公営の地域重賞も。自身も重賞を勝ち始めたのは3歳後半からだ)た。オルフェーヴルは87頭がデビューし、8頭が11勝(牝馬ラッキークライラクは重賞2勝)を記録。勝ち上がり率が低いのは、遅咲き産駒が多いのと、父ステイゴールドと同じように「大物か、それとも」の産駒を出すためと思われる。
 ▼エイシンフラッシュは、自身は芝だけで快走したが、キングマンボ系(孫)らしくダート戦を苦にしない産駒が多い。ストロングリターン(父シンボリクリスエス)と、エスポワールシチー(父ゴールドアリアル)の産駒は、ほぼ父系の特徴通り。新種牡馬の産駒は、芝向きなのか、ダート向きなのか明確に分かれた。
 (相木)

中山 11R	3連複	上位人気
71416	16.7	
51416	21.5	
101416	27.3	
11416	30.5	
131416	31.5	
5714	32.3	
71014	39.8	
1714	40.6	
71314	46.7	
5716	47.1	
71016	48.8	
61416	49.1	
1716	51.0	
51014	58.7	
11514	66.8	
157	68.5	
1710	68.7	
5710	70.4	
51314	70.8	
81416	73.8	
51016	79.3	
101314	83.8	
91416	87.4	
11016	90.7	
71316	91.3	



競馬人情
 1月3日の午前、藤沢市の遊行寺の近くで、小学校5年生の孫子ホコと、箱根駅伝の復路8区で急坂を走る選手たちを見ていた。
 リホコは走るのが好きで、それも長い距離を走るのが好きな子なので、キラキラした目で選手たちの通過を見送った。
 その帰り道、コーヒーションプでサンドイッチを食べながら、あるランドナーたち、くる日もくる日も、走るということに打ちこんでいるんだなあ。
 ひとつのことに打ちこんでいるというのがすばらしい。それが幸せというもんだ。
 とジイさんとして、孫に、講

勝負の一手

中山8R マイティイゴールド
 郡和之

前走は元々忙しい距離だったところに、足ばかり馬場状態が加わり、悪条件が積み重なった。馬格に恵まれた馬で冬場の中山が条件としてはベスト。この舞台での現級勝ちをローテーションでシミュレーションという強敵相手を下しうける。当時よりはメンバーも楽になった。

関東リーディングトレーナー

(2017年12月28日終了現在)

順位	調教師名	馬房	所属	①特重着別	②重着	③着	着外	連対率	通勝	算利
1	国枝	栄	28	(北)48⑬	②	35	33	219	.248	799
2	堀	宣	24	(北)44⑬	⑥	23	21	147	.297	494
3	藤	和	28	(北)48⑬	⑥	45	22	166	.321	1381
4	齋	藤	24	(南)39⑫	①	25	31	241	.190	280
5	手塚	貴	20	(北)38⑫	①	31	39	206	.220	455
6	木村	哲	20	(北)33⑩	①	26	21	129	.282	146
7	高木	登	20	(北)30⑥	---	17	25	175	.190	198
8	相沢	郁	22	(南)27③	---	22	24	234	.160	369
9	尾関	知	24	(南)26⑧	②	25	18	229	.171	219
10	鹿戸	雄	22	(北)26⑥	---	16	25	224	.144	259
11	加藤	征	26	(北)26④	①	15	25	209	.149	465
12	牧	光	22	(南)25⑤	---	31	39	235	.170	220
13	田村	康	20	(南)24①	---	23	19	250	.149	450
14	萩原	仁	22	(南)24①	---	21	17	145	.217	550
15	古賀	慎	20	(南)23⑤	---	32	14	172	.228	247
16	金成	貴	20	(北)22⑥	①	25	23	181	.187	88
17	伊藤	圭	20	(北)22③	---	20	13	218	.154	357
18	武市	康	20	(南)22⑦	①	18	13	262	.127	150
19	栗田	博	20	(北)22⑧	②	17	16	183	.164	636
20	奥村	武	20	(南)22⑧	①	14	11	170	.166	62
21	武井	亮	20	(南)21①	---	19	13	189	.165	74
22	戸田	博文	28	(南)20⑥	②	33	31	227	.170	409

各予想者の「101」印に注目
 予想欄の「◎」印は、各スタックが一日1頭厳選したもので、「その日一番買いたい馬」を示しています。

馬具の説明「チークビーズ」
 ●馬具の後ろに当てるシャドーロールのような矯正馬具。後方の視界を狭めて「集中力」を高める効果がある。正式名称は「チークビーズ」。

見聞の馬

小本曾大祐

明けましておめでとうございませう。いきなり3日間競馬、競馬漬けの1年が始まりました。まずは⑧Rのディアライゼ。稍重とはいえ、千通過61秒5のハイペースを押し切った初勝利が非常に強い競馬。乾いた砂でバテない強みを生かせる今の馬場状態は大歓迎。単勝から狙っていきます。

⑩Rからはビクトラム。初のダート挑戦になった前走、直線は馬込みに突っ込み、伸びては詰まり、伸びては詰まりでまともに追えず終い。行きつぱり」と手ごたえからは、ダートに全く問題なし。この距離なら先行策、重賞で戦ってきた地方の高さを見せつけます。

《戌年生まれの騎手》

◎昭和45年(48歳)	◎昭和57年(36歳)
石神 深一	大庭 和弥
金子 光希	川島 信二
難波 剛健	畑端 省吾
義島 靖典	
井上 敏樹	岩崎 翼
城戸 義政	原田 和真